

パイプテント (2K×4Kロイヤル)

区分	作業手順	作業要領	安全対策、注意事項
作業準備	設置前打ち合わせ	<p>設置場所(スペース)、テントの間口(向き)を事前に打ち合わせする。</p> <p>現場の環境(風、地盤)を調べ、養生方法を定める。</p>	<p>養生のスペースも確保すること。</p> <p>地盤を見極め、杭、ウエイトどちらか養生を決め、風が強い場合は養生を通常より増やす。(状況に応じて幕を外しておき、足も伏せておく。)</p>
部材確認		<p>①帽子×2 受リング×2 ジャッキ×2 ハンドル×1 } 帽子セット</p> <p>②外足×4</p> <p>③中足×2</p> <p>④2K桁×7(3本×1束+4本×1束)</p> <p>⑤合掌×2</p>	
設営作業		<p>部材を確認したら、左記の写真の様に部材をならべます。</p> <p>①帽子セット</p> <p>②外足</p> <p>③中足</p> <p>④2K桁</p> <p>⑤合掌</p>	
		<p>部材をならべたら次に外足に桁、合掌を差し込んでいき左記の写真の様な形を作ります。</p>  	



部材が組み終わったら、次に天幕をかけます。両端に分かれて2人で天幕を広げ天幕に穴が空いているのでそこを帽子のジャッキに通します。(2K×4Kの場合は2箇所穴があります。)

※天幕が汚れてしまう恐れがある場合はブルーシート敷いて作業する方が望ましいです。

天幕の角は足に引っ掛けがついているのでそこにハトメを合わせ引っ掛けます。



天幕をかけたら次は足を起こします。片側を起こしたらテントの中に入りジャッキにハンドルを合わせてまわします。ハンドルが部材にあたるぐらいまでまわして下さい。天幕に張がでます。これが終わったらもう片側の足を上げます。

※足を起こす際、桁が抜けないようにする為、桁を入れたところ下の方を持ち起します。



これで完成です。撤去時は基本的この逆の手順になります。